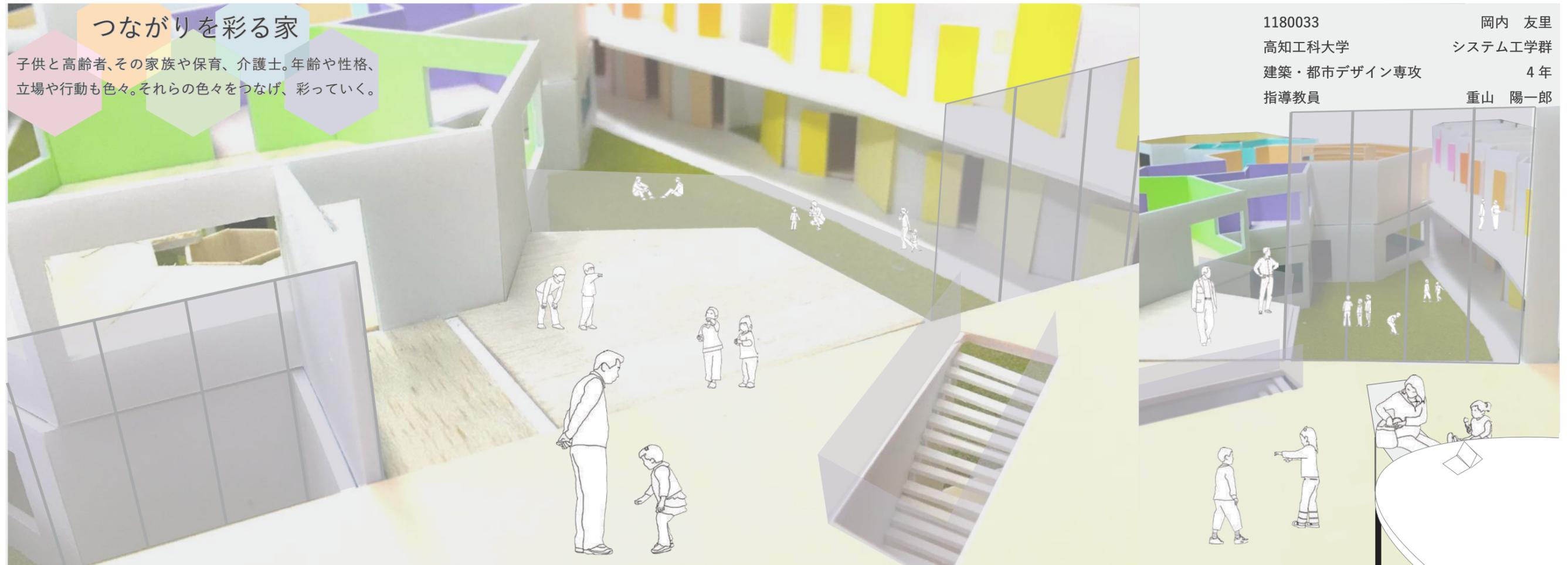


# つながりを彩る家

子供と高齢者、その家族や保育、介護士。年齢や性格、立場や行動も色々。それらの色々をつなげ、彩っていく。



1180033 岡内 友里  
高知工科大学 システム工学群  
建築・都市デザイン専攻 4年  
指導教員 重山 陽一郎

## 1 背景

### 1.1 高齢化社会

現在高齢化社会が問題となっており、2060年には2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる可能性があり、高齢者が増加する事により老人ホームが更に不足する。

### 1.2 少子化社会

少子化社会も問題となっている。しかし、1990年以降一部の都市における保育園不足が発生し、保育園に通う事の出来ない待機児童が年々増加している。

### 1.3 高齢者と子供のつながりの希薄化

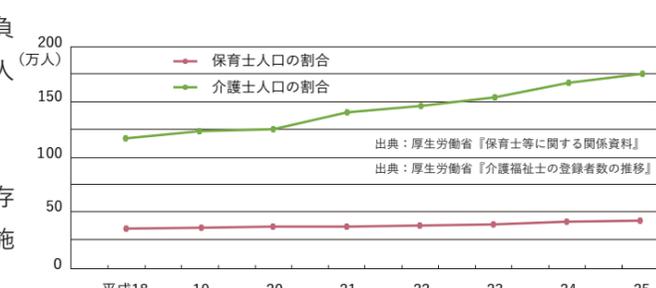
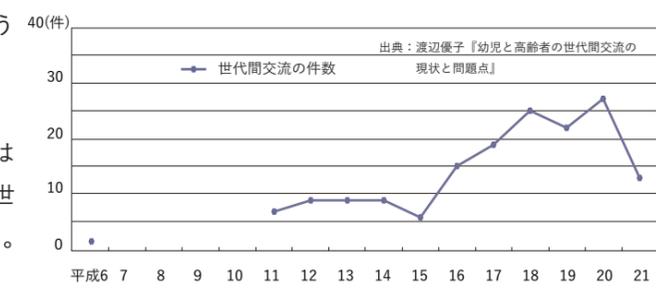
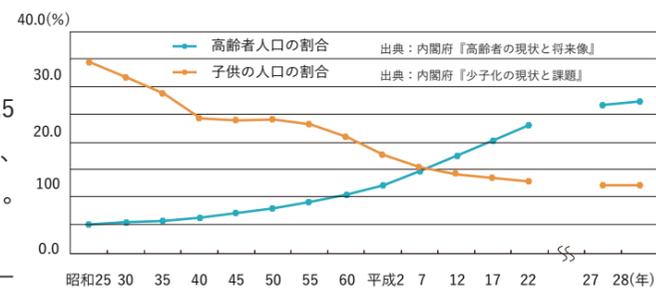
子供との交流により高齢者は生き甲斐を持ち、子供は地域の文化に目覚め、互いの豊かな関係性を目指す世代間交流が行われているが、充分ではない現状である。

### 1.4 職員と家族の負担増

少子高齢化問題によって介護士、保育士の職員の負担や、高齢者と子供の家族の負担が増加し、さらに人手不足となり負担が重くなる可能性がある。

### 1.5 幼老複合施設の不足

高齢者施設と幼稚園を兼ね備えた幼老複合施設は存在するが、知名度の低さや職員不足などが幼老複合施設が広まらない原因の一つである。



## 2 目的

高齢者と子供、職員、家族をつなげる為に幼老複合施設（集合住宅）を設計し、あわせて空き家の用途を検討する。

### 2.1 幼老複合施設

介護が必要な高齢者が暮らす集合住宅内に保育園を設計し、高齢者と子供との間に関わりを生む。また、介護士や保育士の負担が軽減されるように導線や高齢者、子供の管理をしやすい空間を作る。

### 2.2 空き家

幼老複合施設内の保育園に通う子供、そしてその家族が暮らす家となるように幼老複合施設周辺にある空き家を出し、家族が暮らせる貸し家の位置を提案する。

## 3 対象敷地

対象敷地は長谷工の「空き家とつながる集合住宅」のコンペティションで使用された仮想敷地を用いる。

### 3.1 空き家の選定方法と空き家の位置によるつながり

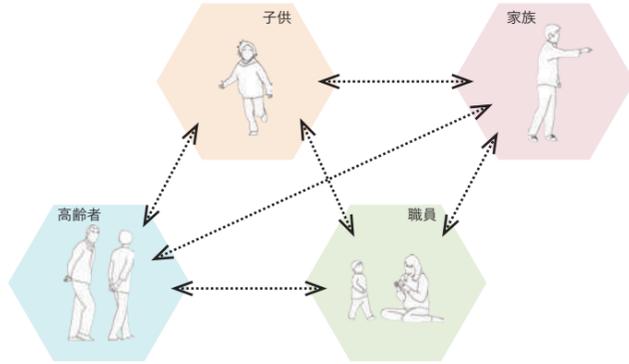
保育園までの距離が徒歩2分以上5分以内の位置の空き家を選定する。5分以内にする事で徒歩通園が可能になり、通園時に親子同士のコミュニケーションがとれる。更に2分以上離す事で通園中に他の親子と出会うというつながりが生まれる。そのことによって、送迎などを他の家族と交代制にするなど助け合うことができ、そこから子供や家族同士の間で強いつながりを築く事が出来ると思う。



## 5 設計方針

幼老複合施設内に高齢者や子供、介護士・保育士等の職員、そして家族も使用可能な共有スペースをそれぞれ設計し、それらをつなげて彩る。

使用者	場所
高齢者	リビング、住宅
子供	保育園、庭
職員	倉庫、事務室、医務室、受付
共有スペース	ダイニング、街



## 6 設計

### 6.1 リビング

高齢者が集まる場所で、車椅子でも1Fのダイニングへ出入りできるようにスロープを設計する。スロープの部分にそって大きく開口しており、十分な採光と開放感を演出する。また、職員が高齢者を管理しやすいように室内の見晴らしを良好にする。



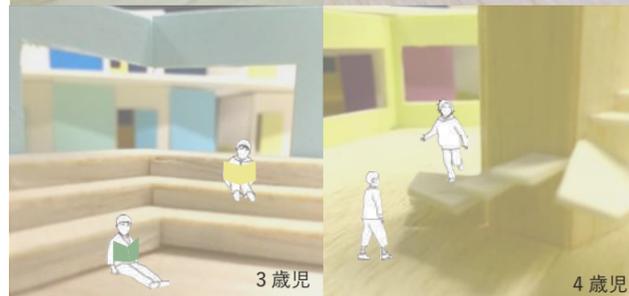
### 6.2 住宅

高齢者の住宅で、車椅子で出入りしやすいよう入口に角度を付ける。扉と壁をそれぞれ彩り、同じ色のブローチを住人が身につける。彩る事で認知症の高齢者が迷子になった場合でも、ブローチの色によってどの家の住人が用意に把握できる。また、子供が色で高齢者を認識する事につながりを作る。



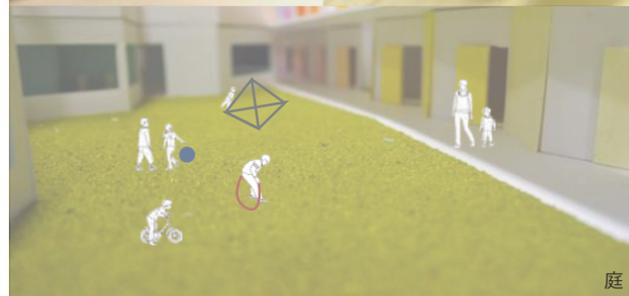
### 6.3 保育園

- ・0,1歳児  
0,1歳児と年齢が低いため、ほかの部屋から隔離される場所に設計し、おもつを替える為の台を作る。
- ・2歳児  
トイレトレーニングが行えるよう室内に小さなトイレを作り、荷物カウンターを作る。
- ・3歳児  
本棚と本を読むスペースを作り、外とのつながりを作る様な仕組みを作る。また、3歳児と4,5歳児の部屋の間にはトイレを設計する。
- ・4.5歳児  
部屋の中心に階段を作り、2Fへのアクセスを作る。また室内で運動できるボルダリングスペースを設計する。



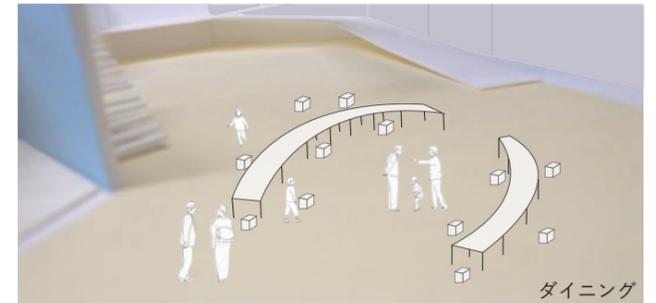
### 6.4 庭

- ・2歳児の庭  
三輪車等で遊べるように広く、木々を植える。
- ・3歳児の庭  
砂場や遊具をつくり、室内とのつながりを作る。
- ・4.5歳児の庭  
竹馬等で遊べるよう広く庭を作る。



## 6.5 ダイニング

高齢者、子供、職員や家族が食事をとれる場所で、昼食をとる、屋台を出したイベントや保育園のお遊戯会などを行う事でつながりを作る。また、食事をつくる調理室を中に作る事で配膳しやすく、調理室をガラス張りにする事で調理する職員とのつながりも作れる。スロープ下の部分に倉庫を設計する。



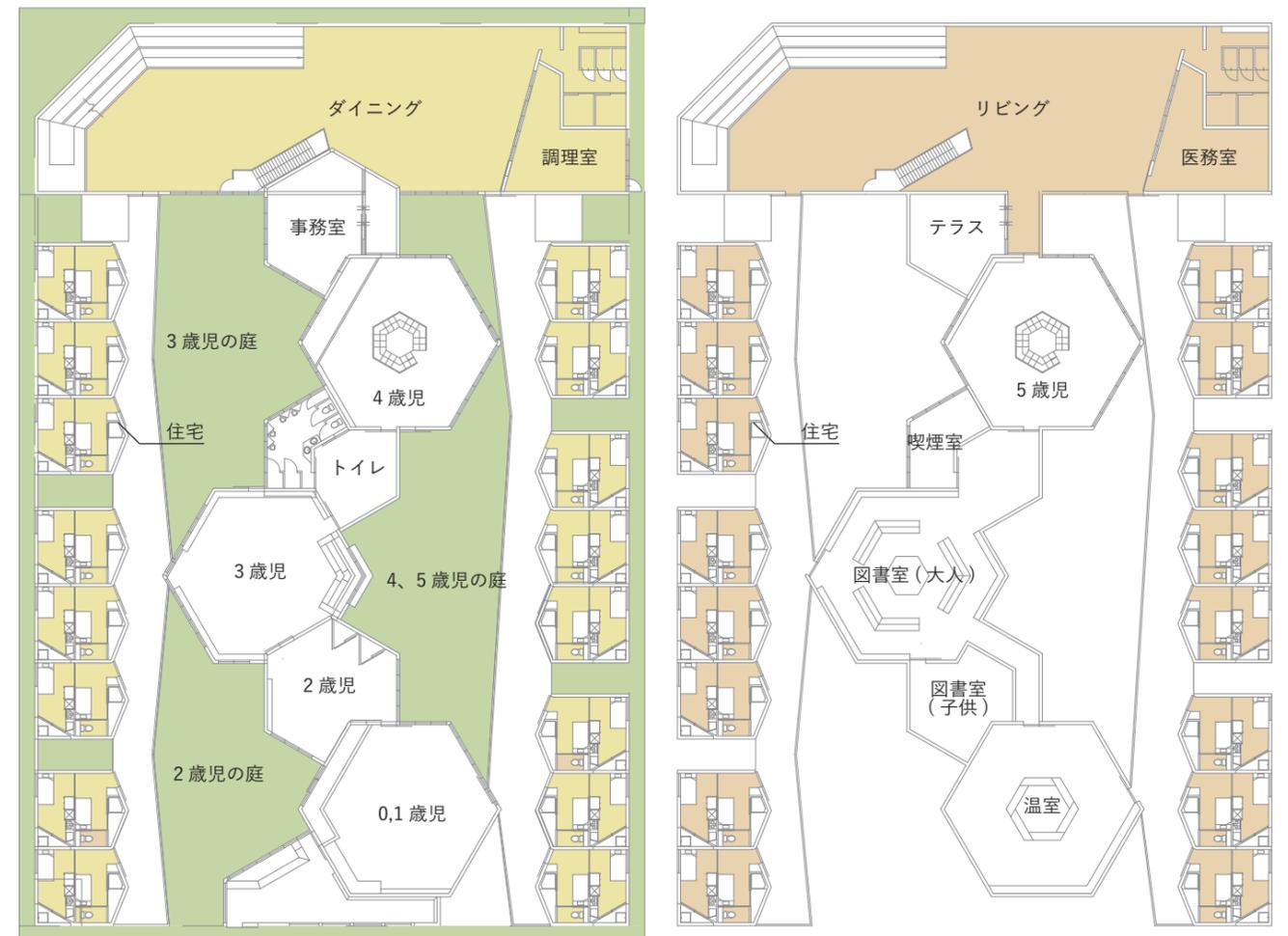
## 6.6 街

保育園の2F部分に図書館、喫煙室、テラス、温室からなる街を作り、高齢者に刺激や楽しみを与える。

場所	使用者
喫煙室	高齢者、職員、家族
図書館	高齢者、子供、家族
テラス	職員、家族
温室	高齢者、子供、職員、家族



## 7 全体図面



1F

2F

0

10

30

70m

